

☆ ボランティアさんの一言 ☆

流れ星をたくさん見たい方は今月のペルセウス座流星群にぜひご注目ください。

この流星群は、三大流星群の中でも季節的に観察しやすいものですし、今年は、月明かりの影響も少なく、好条件です。街明かりが少ない夜空では極大（8月13日未明）には一時間当たり40個前後の流星を見ることができるよう。

また、20時を過ぎると木星や土星が見頃になり、天の川をはじめ、夏の星座たちの競演も見逃せません。他にも、15日の月面X（エックス）など、様々な天文現象が楽しめます。

(星のおじさまより)

開館時間：15：00～21：30

☆ 8月の見頃の時間は19:30ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・Twitterにて ↓



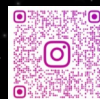
Web



Facebook



Twitter



Instagram

#くらぶちこども天文台



くらぶちこども天文台

KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉淵町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

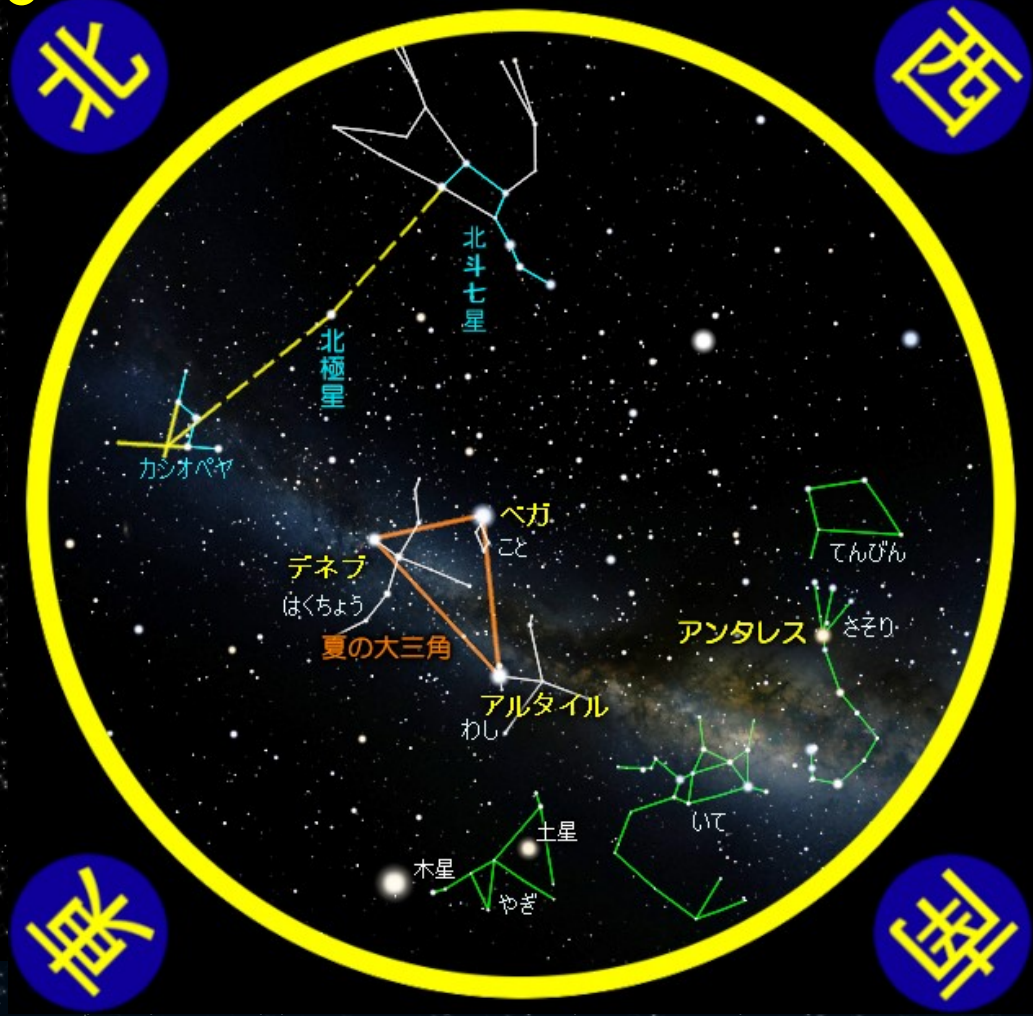
くらぶちこども天文台

2021★8月の星空

つゆ あ だんだん ほしぞら たの
ようやく梅雨が明け、段々と星空を楽しめるようになってきました。8月は土星や木星が衝（地球に最も近づき、観測がしやすい日）となり、いよいよ人気の惑星シーズン到来です。また、お盆の時期には三大流星群のなかでも最大級のペルセウス流星群も。天の川、惑星、ペルセウス流星群、月の満ち欠け…夏休みにぜひ、星空観察にお越しく下さい！



今月の星座



Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/>より

誕生星座は、【てんびん座】【さそり座】【やぎ座】が見頃になります。
 すっかり夏の夜空ですね！天の川や『夏の大三角』の季節です。北の空には『北斗七星』と【カシオペア座】が両方見れますよ！また、13日～15日ごろはペルセウス流星群が見ごろを迎えます。空が暗く眺められる場所であればどこでも楽しむことができますので、ぜひ空を見上げてみてくださいね！

星空トピックス 『望遠鏡のしくみ⑤』

宇宙の世界を近くで観せてくれる望遠鏡。4月から数回に分けて、望遠鏡のしくみについて解説しています！今回は望遠鏡の倍率について！

◇ 倍率が高い＝良く見える、じゃない？！

200倍、100倍まで見える！というと、なんでも良く見える望遠鏡のような気がしますよね！確かに、『倍率』が高いとそれだけ拡大するので大きく見えるのですが、『綺麗に見える』かということ…実は違います。理論上、倍率には上限がありませんが、高倍率にすればするほど、望遠鏡を覗いたときに見える像は暗くなる特性があるのです。そのため、高倍率でよく見るためには、望遠鏡の『口径（対物レンズ・対物鏡の大きさ）』を大きくして、もっと光を集める必要があります。

● 『口径 (mm) × 2』が有効倍率！！

口径が8cmの望遠鏡であれば、80mmなので160倍くらいまでが綺麗に見える倍率になります。5cmの望遠鏡なら100倍です。それ以上でも見えないことはありませんが、薄暗く、見えにくい像になってしまいます。かといって大きな口径がいいかというと、月などの身近な天体を見たいときは光を集めすぎてしまい、低倍率の観察には適しません。望遠鏡にはそれぞれに“得意な天体”があるんですね。

● 倍率 = 望遠鏡の焦点距離 ÷ 接眼レンズの焦点距離

そんな望遠鏡の倍率は簡単な計算で求めることができます。望遠鏡の焦点距離が800mm、装着した接眼レンズが20mmなら、800 ÷ 20 = 40倍の倍率ということになります。望遠鏡や接眼レンズの焦点距離はどこかにシールやペイントで表示されているので探してみましょう。倍率によってさまざまな見え方があるので楽しいですよ！